

3 階層のデータモデル

- 概念データモデル

ビジネスの目的を実現するために必要なデータの構造を明確にするモデル。
結果的に、概念データモデルは、ビジネスの仕組を構成する実体の構造を表します。

- 論理データモデル

システムの機能要件やデータの品質要件を満たすデータの構造を明確にするモデル。

- 物理データモデル

システムの非機能要件（特に効率性）を満たし、IT基盤（データベース製品など）に適応したデータの構造を明確にするモデル。

3 階層のデータモデル

- 概念データモデル

ビジネスの目的を実現するために必要なデータの構造を明確にするモデル。
結果的に、概念データモデルは、ビジネスの仕組を構成する実体の構造を表します。

- 論理データモデル

システムの機能要件やデータの品質要件を満たすデータの構造を明確にするモデル。

- 物理データモデル

システムの非機能要件（特に効率性）を満たし、IT基盤（データベース製品など）に適応したデータの構造を明確にするモデル。

MDA

(Model-Driven Architecture : モデル駆動アーキテクチャ)

標準化団体であるOMG(Object Management Group)が「20年持続するソフトウェアアーキテクチャ」を目標として2001年に提唱した概念。

- CIM (Computation Independent Model)
計算機処理に依存しないモデル。
- PIM (Platform Independent Model)
IT基盤に依存しないモデル。
- PSM (Platform Specific Model)
IT基盤に特化したモデル。

MDA

(Model-Driven Architecture : モデル駆動アーキテクチャ)

標準化団体であるOMG(Object Management Group)が「20年持続するソフトウェアアーキテクチャ」を目標として2001年に提唱した概念。

- CIM (Computation Independent Model)
計算機処理に依存しないモデル。
- PIM (Platform Independent Model)
IT基盤に依存しないモデル。
- PSM (Platform Specific Model)
IT基盤に特化したモデル。

MDA

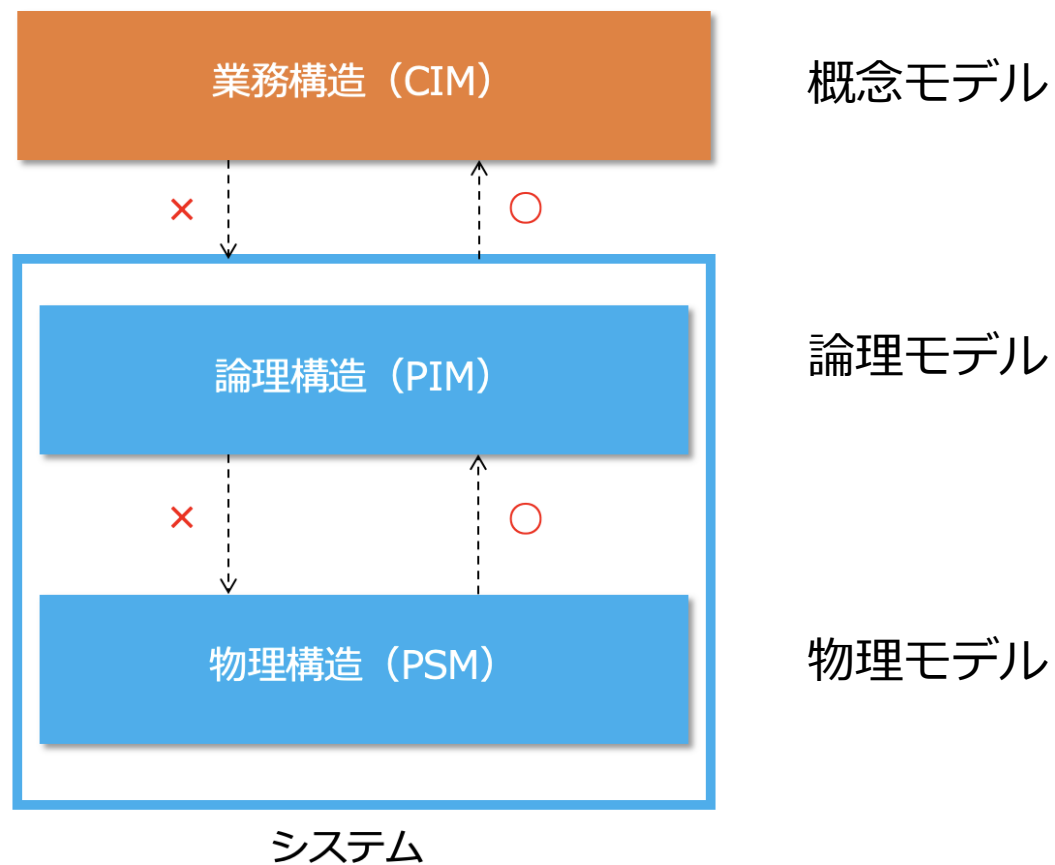
(Model-Driven Architecture : モデル駆動アーキテクチャ)

標準化団体であるOMG(Object Management Group)が「20年持続するソフトウェアアーキテクチャ」を目標として2001年に提唱した概念。

- CIM (Computation Independent Model)
計算機処理に依存しないモデル。
- PIM (Platform Independent Model)
IT基盤に依存しないモデル。
- PSM (Platform Specific Model)
IT基盤に特化したモデル。

MDA

(Model-Driven Architecture : モデル駆動アーキテクチャ)



※ここで言うシステムは情報システムを指しています。

3 階層のデータモデル

- 概念データモデル

ビジネスの目的を実現するために必要なデータの構造を明確にするモデル。
結果的に、概念データモデルは、ビジネスの仕組を構成する実体の構造を表します。

- 論理データモデル

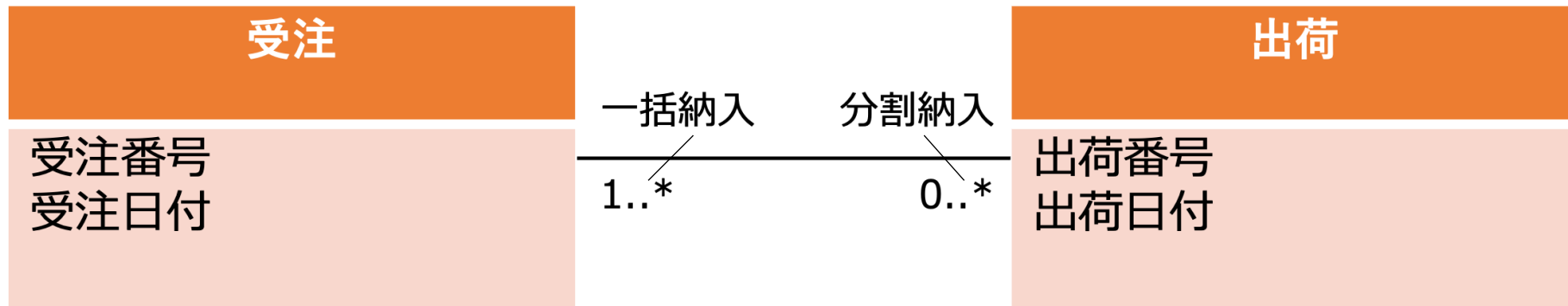
システムの機能要件やデータの品質要件を満たすデータの構造を明確にするモデル。

- 物理データモデル

システムの非機能要件（特に効率性）を満たし、IT基盤（データベース製品など）に適応したデータの構造を明確にするモデル。

概念データモデルの例

概念データモデルは、ビジネスの仕組みを構成する実体の構造を表します。



3 階層のデータモデル

- 概念データモデル

ビジネスの目的を実現するために必要なデータの構造を明確にするモデル。
結果的に、概念データモデルは、ビジネスの仕組を構成する実体の構造を表します。

- 論理データモデル

システムの機能要件やデータの品質要件を満たすデータの構造を明確にするモデル。

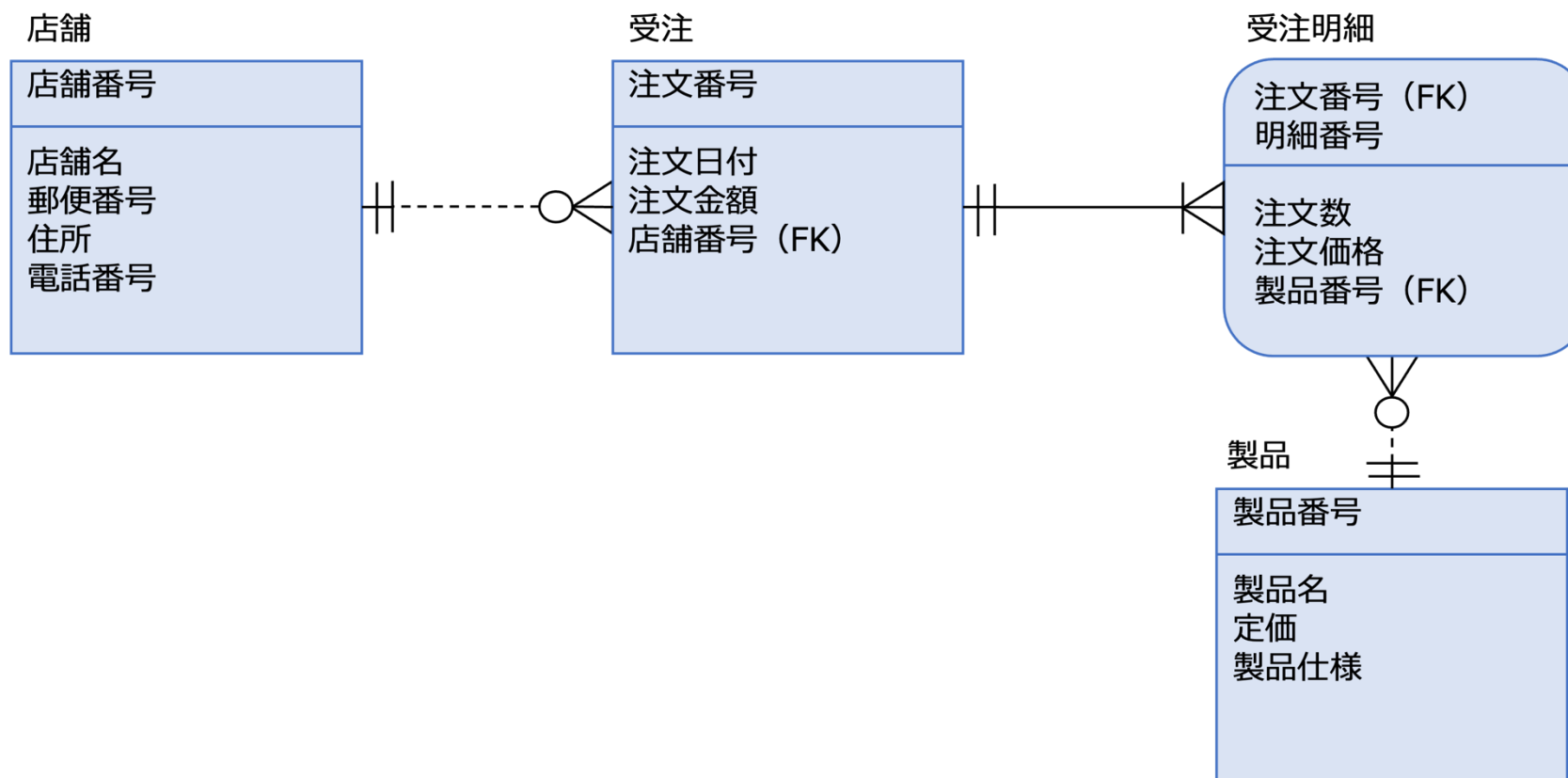
- 物理データモデル

システムの非機能要件（特に効率性）を満たし、IT基盤（データベース製品など）に適応したデータの構造を明確にするモデル。

存在制約

論理データモデルの例

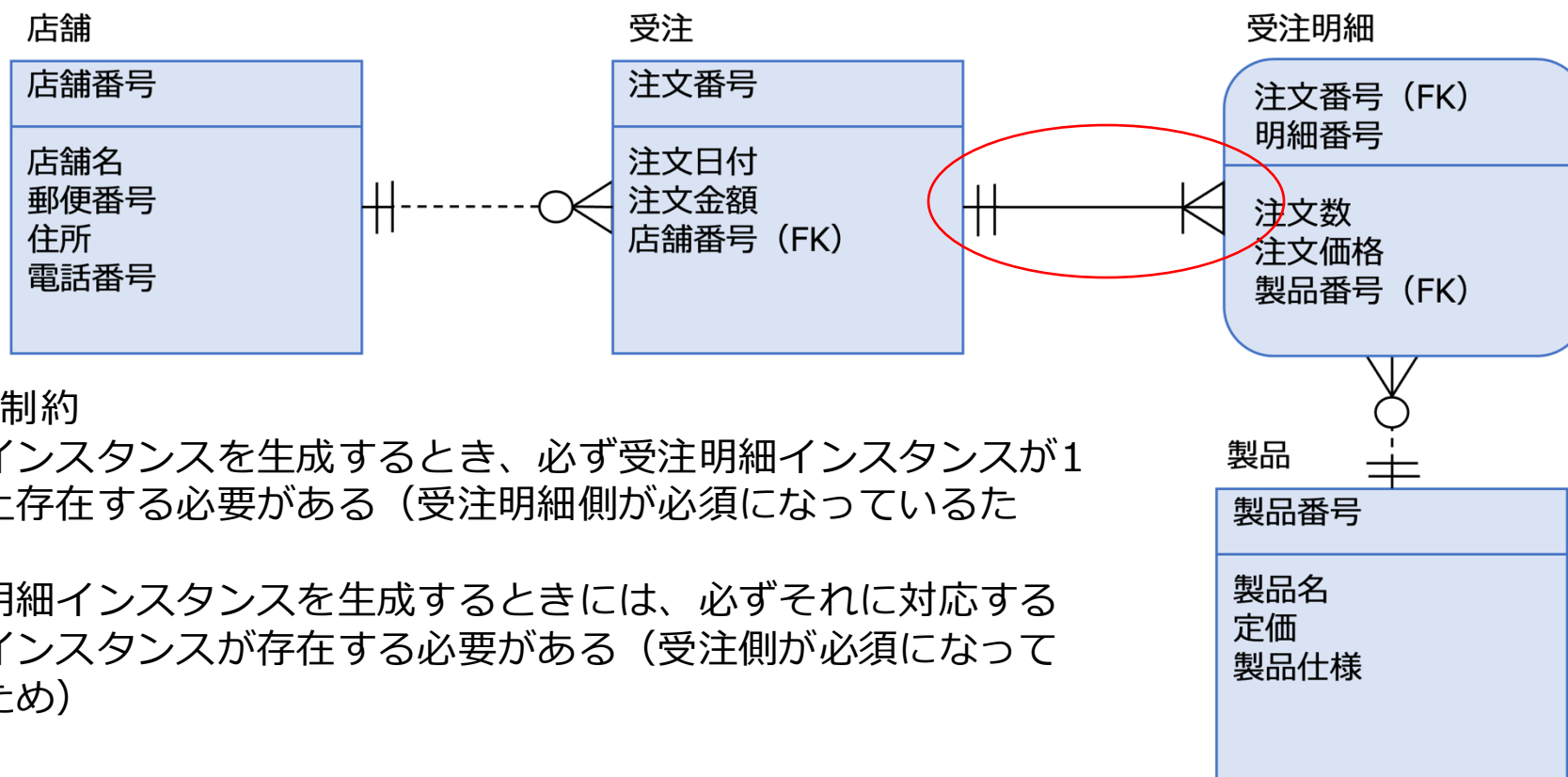
多重度のオプションナリティやリレーションシップで存在制約を表現することができる。



存在制約

論理データモデルの例

多重度のオプションリティやリレーションシップで存在制約を表現することができる。



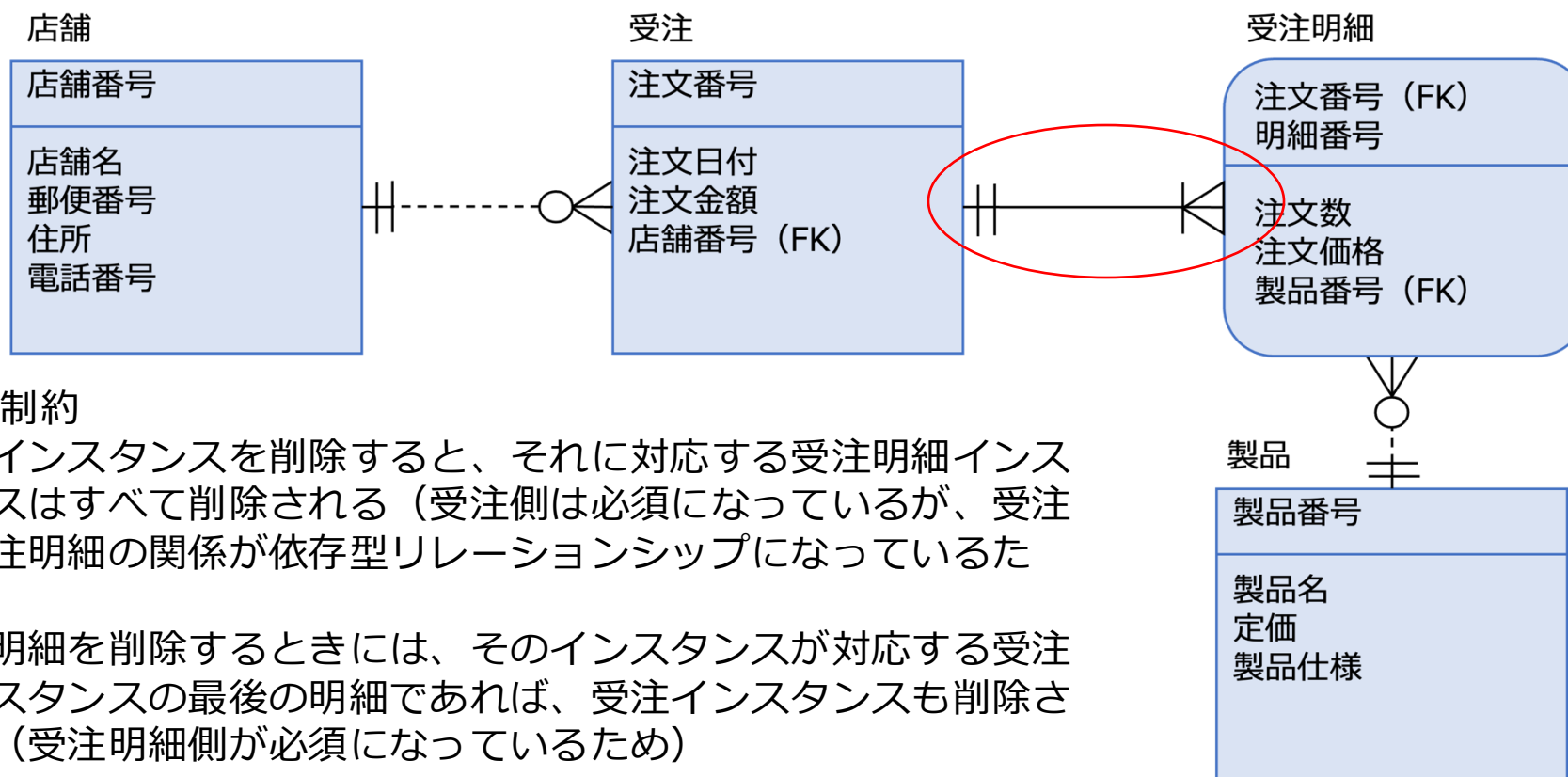
生成時の制約

- 受注インスタンスを生成するとき、必ず受注明細インスタンスが1つ以上存在する必要がある（受注明細側が必須になっているため）
- 受注明細インスタンスを生成するときには、必ずそれに対応する受注インスタンスが存在する必要がある（受注側が必須になっているため）

存在制約

論理データモデルの例

多重度のオプションリティやリレーションシップで存在制約を表現することができる。



削除時の制約

- 受注インスタンスを削除すると、それに対応する受注明細インスタンスはすべて削除される（受注側は必須になっているが、受注と受注明細の関係が依存型リレーションシップになっているため）
- 受注明細を削除するときには、そのインスタンスが対応する受注インスタンスの最後の明細であれば、受注インスタンスも削除される（受注明細側が必須になっているため）

3 階層のデータモデル

- 概念データモデル

ビジネスの目的を実現するために必要なデータの構造を明確にするモデル。
結果的に、概念データモデルは、ビジネスの仕組を構成する実体の構造を表します。

- 論理データモデル

システムの機能要件やデータの品質要件を満たすデータの構造を明確にするモデル。

- 物理データモデル

システムの非機能要件（特に効率性）を満たし、IT基盤（データベース製品など）に適応したデータの構造を明確にするモデル。

テーブルの定義

システム名	サブシステム名
地域連携システム	
テーブル名	スキーマ
cabinet	public

共有ファイル管理テーブル:一連の共有ファイルに対して一件のレコードが存在する。

No.	項 目 名	型	長さ	小数	必須	主キー	備 考
1	cabinet_id	integer			Y	Y	ファイル共有ID
2	cabinet_subject	character varying	128		Y		ファイル共有のタイトル
3	cabinet_body	character varying	1024		Y		ファイル共有の説明
4	del_flg	character varying	1				無効フラグ 1:無効 0:有効
5	create_user_id	character varying	63				作成者
6	create_datetime	timestamp without time zone					作成時刻
7	update_user_id	character varying	63				更新者
8	update_datetime	timestamp without time zone					更新時刻

出所：厚生労働省

お疲れ様でした！

